

<2030 年の SDGs 達成に向けた経営方針等>

当社は昭和 48 年より「お客様の満足を常に大切にして、夢のある豊かな未来へ貢献する」を経営理念にかかげ、近年は環境方針において「かけがえのない自然、限りある資源を常に大切に、地球環境の保全に取組み、豊かな未来へ貢献する」を基本理念として企業活動に取り組んでまいりました。社会インフラに携わる企業として、今までの取組みを継続し、かつ新しい技術・取組みを導入することで SDGs のゴール実現を目指して邁進してまいります。

<今期の SDGs に関する重点的な取組、指標及び実績>

三側面	取組の状況	前期の指標	実績
☒ 環境 ☐ 社会 ☐ 経済	ボランティア清掃活動の自社主体による実施	毎年 4 回以上の実施	毎年 4 回の実施が来た
☐ 環境 ☒ 社会 ☒ 経済	有休休暇の取得促進のため、3 次元の最新技術の導入等により更なる生産性の向上を図るとともに、定期的に社員の取得状況を管理職と確認、必要に応じて社員にヒアリングを行うことで、有給休暇を取得しやすい環境の整備に取り組む	全社員の有給休暇年間平均取得日数を 7 日以上とする	全社員の有給休暇年間平均取得日数を 8 日以上とする
☐ 環境 ☐ 社会 ☒ 経済	積極的な採用活動の実施(新卒・中途問わず)	毎年 3 人以上の採用	新卒、中途を毎年採用できた

・「取組の状況」には、前回登録申請した際の重点的な取組の実施状況やと指標の達成状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。

<今期の評価>

今期は、環境・社会・経済の各側面で設定した取組を概ね計画どおり実施できた。環境面ではボランティア清掃活動を年 4 回実施し、目標を達成した。社会・経済面では、有休取得促進に向けた生産性向上と取得状況の確認等を継続し、平均取得日数は目標 7 日以上に対し 8 日以上となり、目標を上回った。経済面では新卒・中途の採用活動を継続し、毎年採用を実施できた。今後も取組を継続し、成果の見える化を進めていく。

・ SDGs の取組全体について、今期の振り返りや来期の展望などを記載してください。

<次期の SDGs 達成に向けての重点的な取組、及び指標>

三側面	SDGs に関する重点的な取組	指標 (更新時に向けた数値目標)
☒ 環境 ☐ 社会 ☐ 経済	自社主体によるボランティア清掃活動を計画的に継続し、地域環境の保全と社員の環境意識向上を図る。実施後は参加人数等を記録し社内共有する。	年 4 回以上実施 + 延べ参加人数 年 170 人以上
☐ 環境 ☒ 社会 ☒ 経済	有休休暇の取得促進に向け、3 次元技術等の導入・活用により業務効率化と生産性向上を図る。管理職が取得状況を定期確認し、必要に応じて社員へヒアリングを行い取得しやすい環境を整備する。	全社員の有給休暇 年間平均取得日数 8 日以上
☐ 環境 ☐ 社会 ☒ 経済	新卒・中途を問わず計画的に採用活動を行い、人材確保と組織体制の強化を図る。併せて OJT 等の育成・フォロー体制を整備し定着を促進する。	年 3 人以上の採用(新卒・中途合計) + 入社 1 年以内の定着率 70%以上

事業所名:大福コンサルタント株式会社

- ・「SDGs に関する重点的な取組」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。
- ・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、更新時までの数値目標を記載してください。

<SDGs達成に向けてのパートナーシップ>

今期も企業活動を通じて地域社会に貢献するため、鹿児島県測量設計業協会や県内各市町村が主催するボランティア活動に積極的に参加を行う。また、SDGs達成にむけて顕著な取り組みをしている団体を、企業活動を通じて支援する。

- ・「パートナーシップ」には、企業や NPO 法人、行政など関係機関との連携があれば記載してください。